実装技術セミナーを開催

次世代通信における接着技術

大阪大

大阪大学産業科学研究所のフレキシブル3D実装協働研究所は2月25日、2021年度第7回公開講座「ポスト5G通信を支える基盤技術」を開催した。約200人が参加した。

同協働研究所は20年1月に設立。パワーデバイスや高密度車載部品、高速大容量通信、フレキシブルデバイスといった、次世代のエレクトロニクス技術の実用化、および社会実装を目指して、オープンなプラットフォームによる検討を行っている。また、公開講座や研究会などを通じて、新技術の情報を積極的に発信している。

今回の講演概要は以下のとおり。

◆「ポスト5G／6Gに向けた低誘電材料と有機無機接着接合」八甫谷明彦（ダイセル）…プリント配線板に用いられる低誘電材料の開発動向を俯瞰するとともに、伝送損失の原因となる表面の粗化を必要としない分子接合技術を用いた、銅箔とポリイミドの接着について解説した。

◆「次世代情報通信における材料面での長瀬産業の取組みについて」宮木伸行（長瀬産業）…次世代通信技術の実現に向けた同社の開発品を紹介。感光性ガラスによる電子部品の設計、および低誘電接着剤を用いて試作したフレキシブル銅張積層板（FCCL）の誘電特性について説明した。

◆「セルロースナノファイバーを用いた水濡れ故障対策技術とその応用」春日貴章（大阪大学）…セルロースナノファイバー（CNF）の応用展開として、CNFを原料とした紙基板を用いた生分解性センサーデバイス、および回路保護を目的としたCNFコーティングを紹介した。

1月の粘着テープ出荷

紙・フィルム類が好調

日粘工調べ

日本粘着テープ工業会は、2022年1月の粘着テープ・シート類出荷実績（表）を発表した。

テープ類・シート類の総合計は、数量が前年同月比10・2％増の767万3663平方㍍、金額が同1・7％減の100億3265万9000円。数量は11ヵ月連続の前年比増を記録した一方、金額は5ヵ月連続のマイナスとなった。

種類別に見ると、紙類は数量が同14・6％増の3082万7232平方㍍、金額が同10・0％増の17億2226万2000円。布類は数量が同3・2％増の1031万㍍、金額が同33・2％減の21億7699万円。

紙類は数量・金額ともに11ヵ月連続の前年比増と、好調な推移が続く。布類は数量が2ヵ月ぶり、金額が3ヵ月連続の増加。平年よりも低水準ではあるものの、前年の落込みからは回復傾向を示した。フィルム類は数量が11ヵ月連続、金額が16ヵ月連続のプラス。金額は同月として過去5年間で最大を記録した。特殊類は両項目ともに7ヵ月連続の大幅減となった。

ト類出荷実績

金額（千円）	前年同月比（%）
1,722,262	110.0
1,387,294	104.5
4,394,346	118.2
2,176,990	66.8
9,680,893	98.1
351,766	103.8
10,032,659	98.3

木材接着士資格制度

21年度登録者26人を発表

木材加工技術協会

日本木材加工技術協会は、第57回木材接着士登録者を発表した。

木材接着士は、木材および木質材料の接着に従事する技術者の技能向上を図り、接着製品の品質安定を確保する目的で創設された資格制度。1966年の創設以来、2016年3月時点で延べ4256人が資格を取得している。

21年度の検定に合格し、登録手続きを完了した新資格取得者26人は以下のとおり。

▽栗田悦弥・小林愛・松信航平・舟木夏海・佐々木友希（朝日ウッドテック）▽山﨑宏祐（ウッドテクノス）▽川﨑仁美・吉光孝輝（ウッドワン）▽片寄裕也・大塚梨夏子・池田創（オーシカ）▽橋本雄司・山下敏至（オーシカケミテック）▽酒井寛史（北見工業技術センター運営協会）▽田中謙次（越井木材工業）▽八木直矢・松岡夕貴（J-ケミカル）▽久米駿輔（住友林業）▽太田和晃（住友林業クレスト）▽長瀬龍聖・高橋巧（天童木工）▽奥山大史（東京ボード工業）▽平間亮介（北海道三井化学）▽中村岳敏（南加賀木材協同組合）▽渡部博（銘建工業）▽水野雅晴（吉井木材工業）

DIY・HCショウ

幕張メッセで8月開催

されるDIY用品や日用品を取り扱う製造業、卸売業、小売業が一堂に会

高分子劣化セミナー

参加者を募集

接着学会

日本接着学会は、5月13日にオンラインで開催するセミナー「高分子劣化における最近の技術動向」の参加者を募集している。

近年、自動車や建築をはじめとする多様な産業分野において、高分子材料をベースとする粘・接着剤が使用されているが、社会実装に際してはさまざまな劣化要因を考慮して材料設計を行う必要がある。同講座では、高分子材料の信頼性評価や劣化メカニズムの解析に関する最近の技術動向を紹介する。

概要は次のとおり。

◆「高分子材料の寿命評価法とそのための分析技術」仲山和海（化学物質評価研究機構）

◆「熱硬化性樹脂の熱劣化要因総合解析―エポキシ系を中心に―」生井勝康（三井化学分析センター）

◆「微弱発光検出法を用いた高感度高分子劣化評価」山田理恵（東北電子産業）

◆「化学分解を加味した熱分解分析法による高分子の劣化に伴う架橋構造イヤーと出展企業担当者が直接商談する「ホームセンタービジネスマッチング」をオンライン併用で実施。このほか、テーマゾーンとして、ホームセンターにおけるCSR活動やSDGsへの取組みを紹介する〝いつでも頼れるホームセンター〟、注目のDIYトレンドを紹介する〝スタイルアップリノベーション〟、体

瞬間接着剤
アロンアルファ®
EXTRA（エクストラ）シリーズ
アロンアルファ EXTRA シリーズは、
新しい機能を付与した瞬間接着剤です。
高機能型2000シリーズと
耐衝撃・耐熱型4000シリーズがあります。
東亞合成株式会社
URL:https://www.toagosei.co.jp/
本　　店 TEL：03（3597）7257（ダイヤルイン）
大阪支店 TEL：06（6446）6569（ダイヤルイン）
名古屋支店 TEL：052（209）8595（ダイヤルイン）
福岡営業所 TEL：092（721）1902（代　表）

エマルション
ドール

Asahimelt
Sales method
［ホットメルトシステム販売方式］
Total coordinate
［トータル・コーディネート］
Adhesive / Application Method